

日産車体株式会社
2014年度 決算説明
(2015年3月期)



2015年5月

主な2014年度の成果

1. 湘南地区の再編を完了し特長ある工場へと進化(湘南工場)

→ 生産集約によるスリムな体制で小型商用車を中心とした多車種少量生産のフレキシブル生産拠点へと進化

2. フル生産を継続しQCTの安定基盤を確立(日産車体九州)

→ 2年連続でフル生産を達成し、ベンチマーク工場としてグローバル競争に勝ち抜く基盤を確立

3. 品質への取り組み強化

→ InfinitiQX80がJDP-IQSでLarge Premium SUVセグメントでNo.1を獲得

→ InfinitiQX80がコンシューマ・レポートで推奨商品に選定(3年連続)

4. 生産台数拡大への取り組み

→ パトロールシリーズのお客様と直接対話による活動の継続

→ NV350キャラバンの135か国向け生産準備完了による海外市場での新車効果

→ 次世代NV200タクシーの開発と生産準備

決算サマリー

中東で好調な「Y62パトロール」をはじめとする、海外向け生産が順調に推移したことなどにより、増収増益

売上台数

輸出向け「Y62パトロール」などの増加により、1.6%増の19.6万台

売上高

売上台数の拡大により0.2%増の4,753億円

営業利益

台数増、合理化等により1.7%増の103億円

当期純利益

湘南工場売却益の計上等により、133.4%増の156億円

設備投資

新車開発や、生産性改善のため投資を中心に55億円

2014年度 通期決算

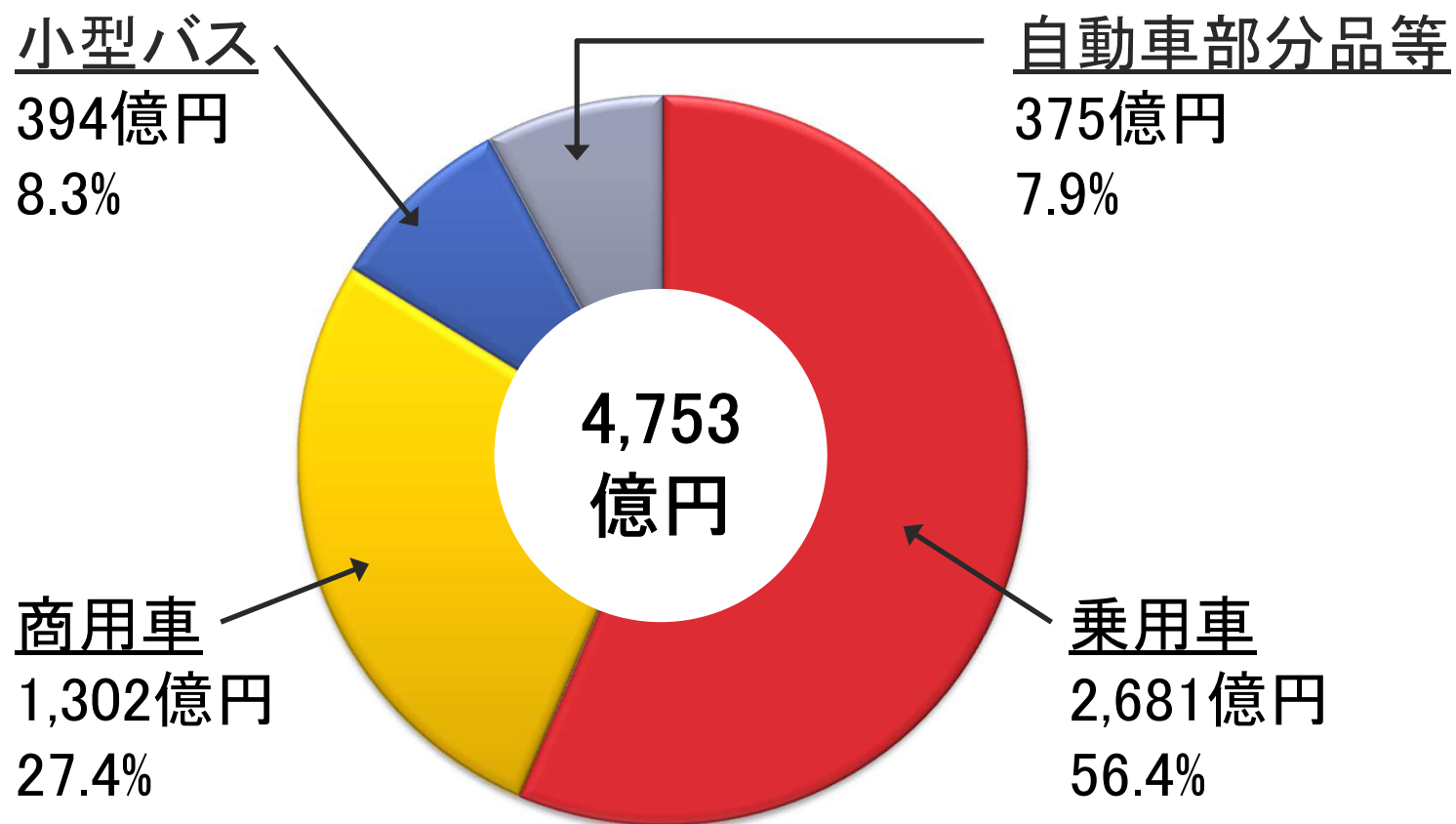
業績ハイライト

	2013年度 (2014/3)	2014年度 (2015/3)	増減額	増減率
売上高	4,742	4,753	11	0.2%
営業利益	101	103	2	1.7%
経常利益	100	110	10	10.6%
当期純利益	67	156	89	133.4%
売上台数(千台)	193	196	3	1.6%

単位:億円

2014年度 通期決算

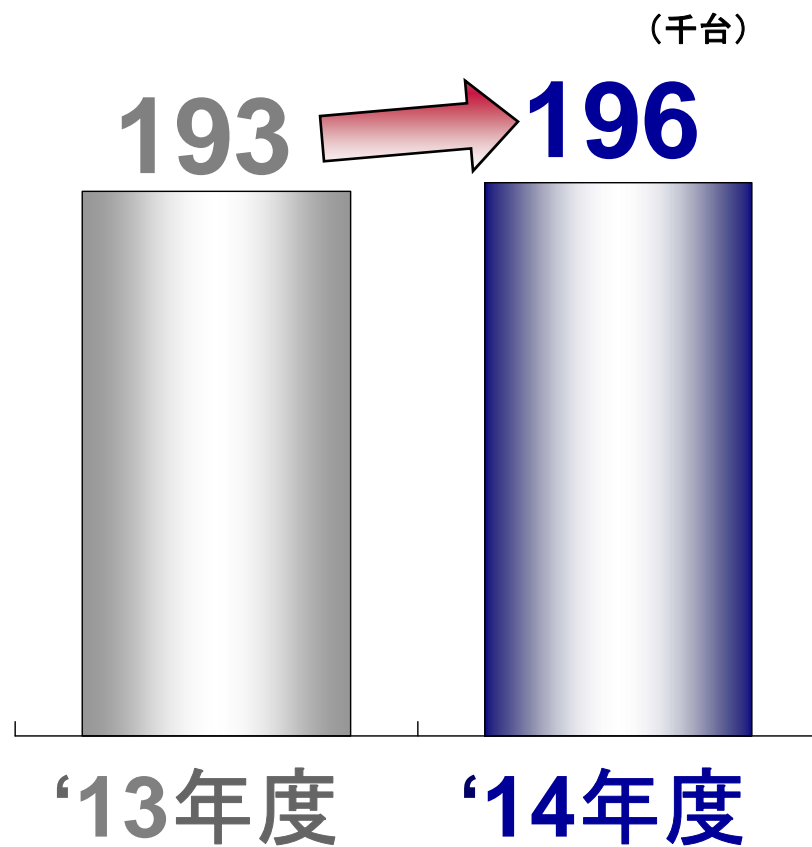
品目別売上高構成比



2014年度 通期決算

売上台数

売上台数は前期比1.6%増の196千台



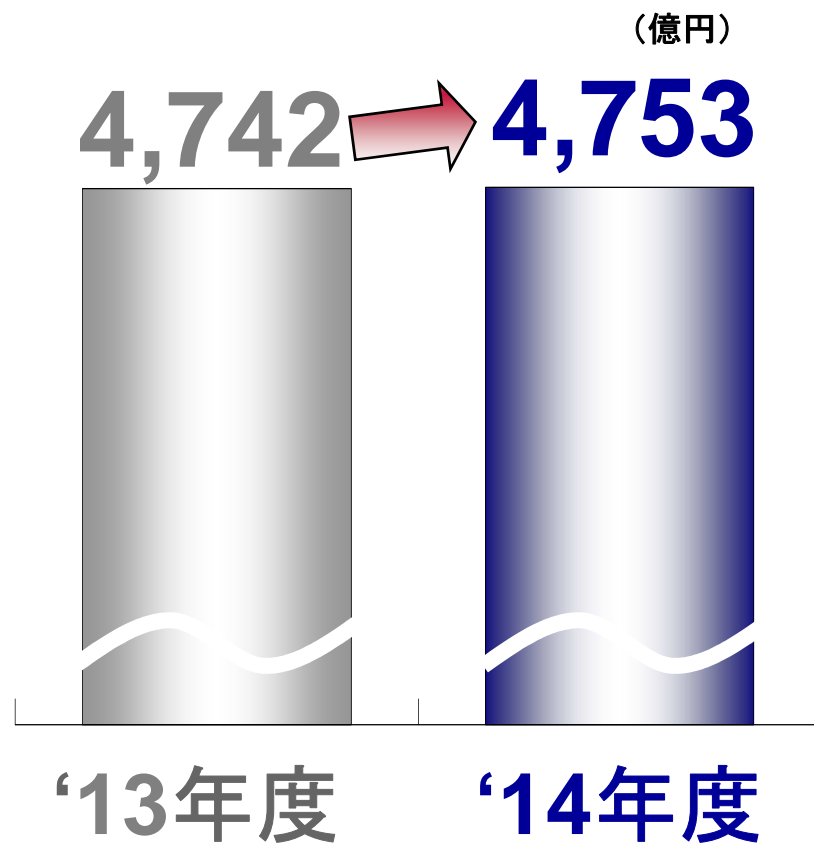
(千台)

	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	91	91	▲0.3%
商用車	82	85	4.4%
小型バス	20	20	▲1.3%
合計	193	196	1.6%

2014年度 通期決算

売上高

売上高は前年同期比0.2%増の4,753億円



PATROL
パトロール:Y62



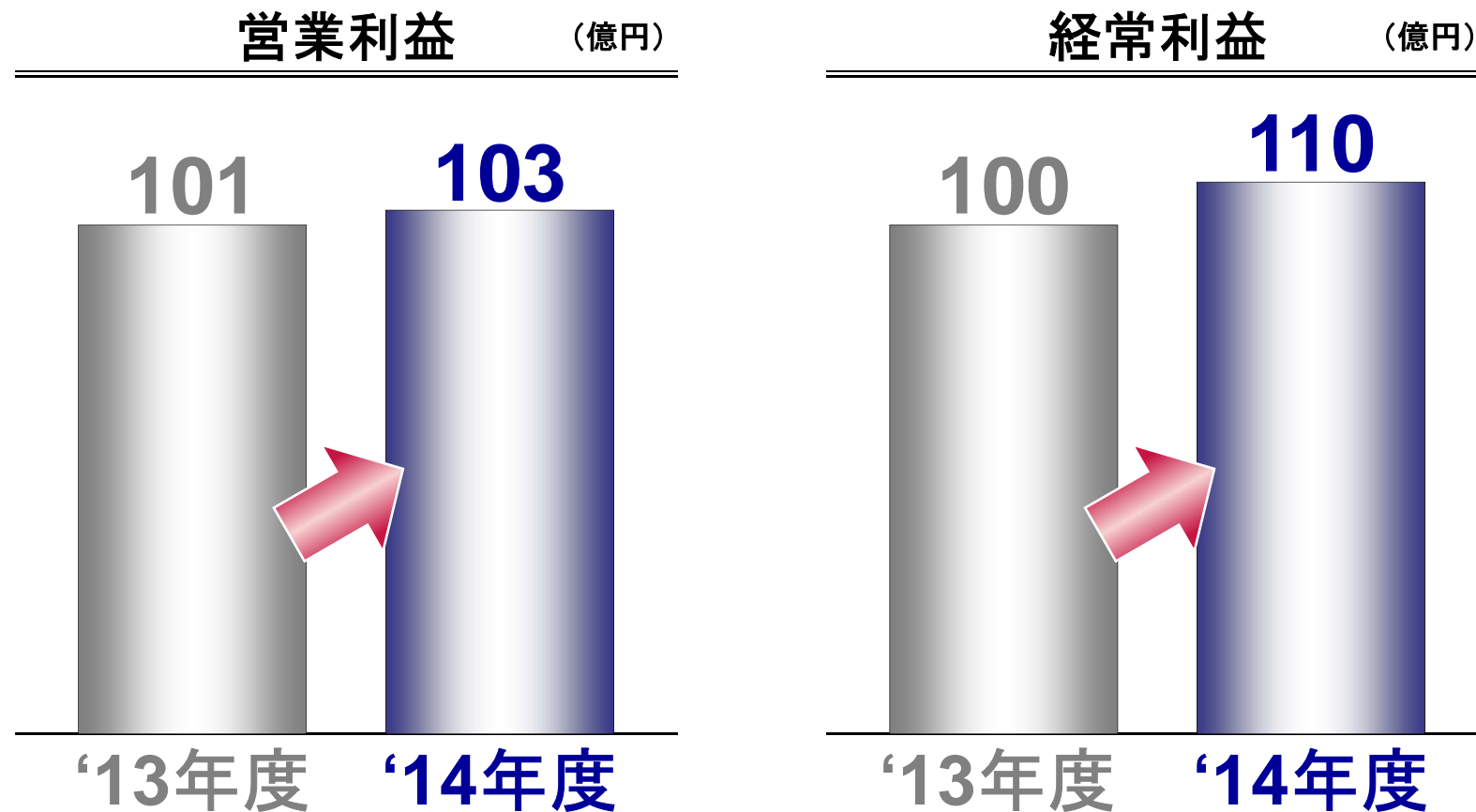
NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン



2014年度 通期決算

営業利益／経常利益

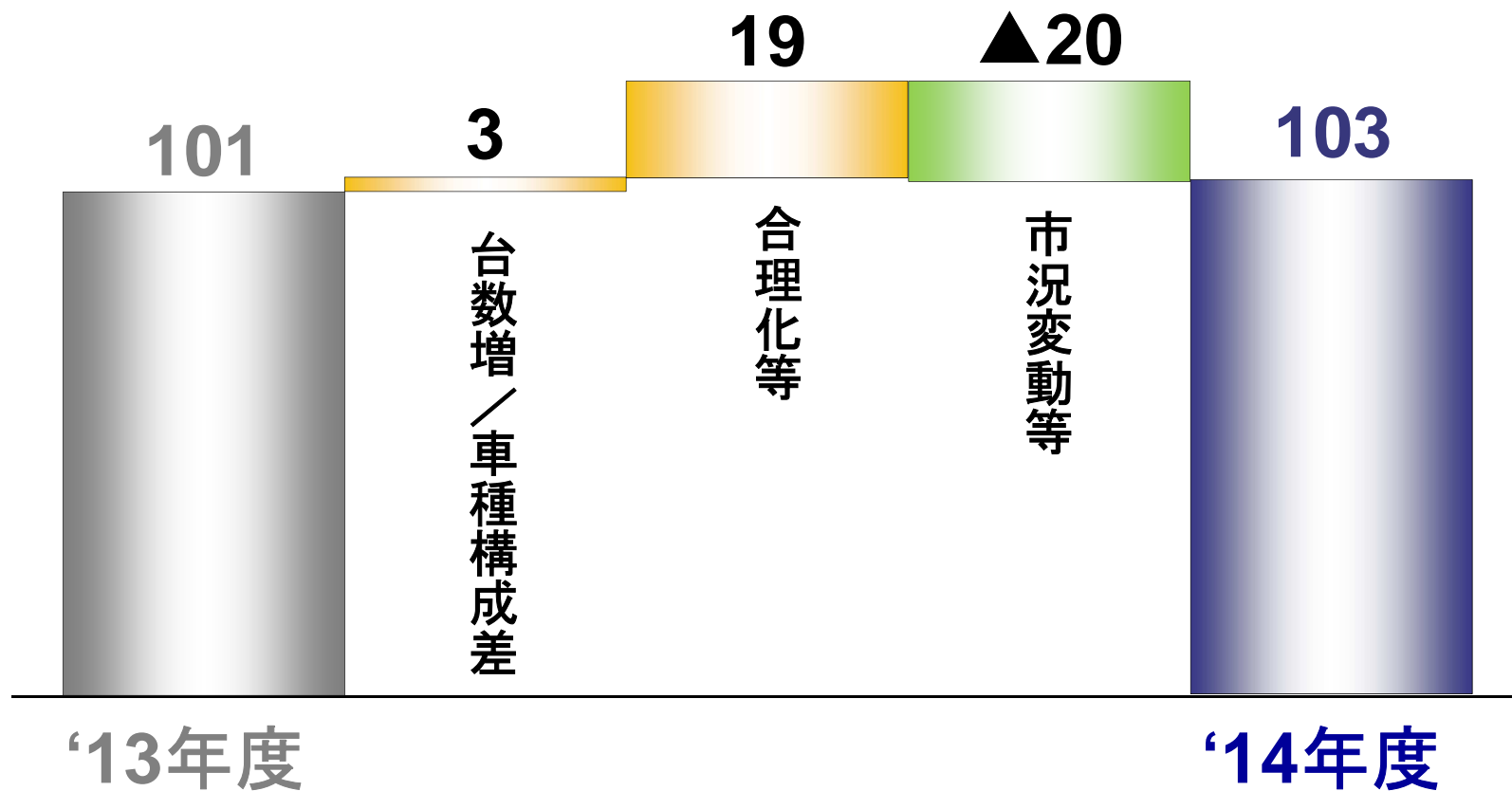
営業利益／経常利益とも前期を上回る



2014年度 通期決算

営業利益の増減要因

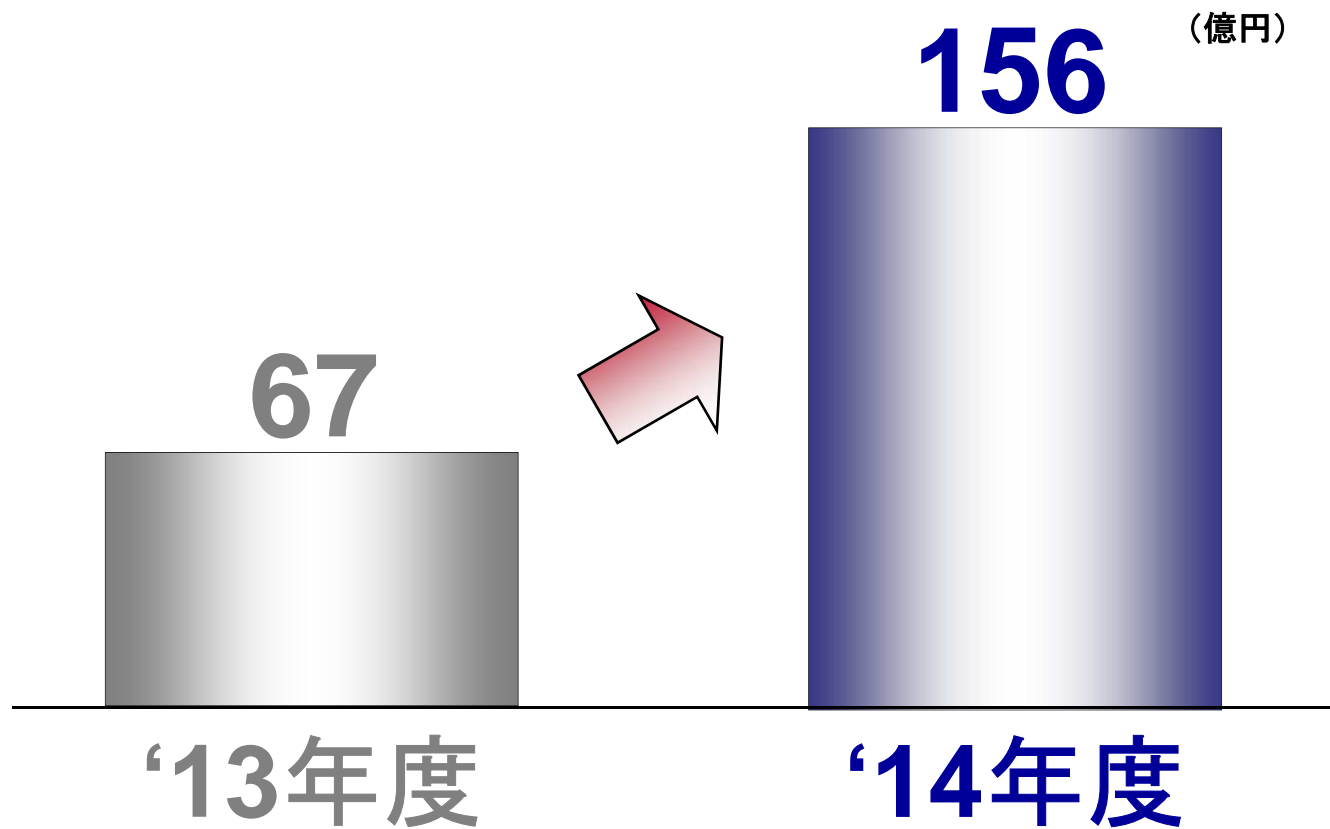
(億円)



2014年度 通期決算

当期純利益

当期純利益は前期比133.4%増の156億円





2015年度 連結業績見通し

2015年度の主な取り組み

＜環境変化＞

- 海外生産拠点との競争
- 国内市場の停滞
- 主要新興国での経済成長鈍化

＜主な取り組み＞

日産車体九州

1. フル生産を活かした「コスト競争力の強化」
2. インフィニティ工場としての「ベンチマーク品質の定着」

湘南工場

1. 生産集約を活かした「コスト競争力の強化」
2. 「生産台数拡大」による更なる生産効率の向上
3. 次世代NV200タクシーの確実な生産立ち上げ

2015年度の業績予想

営業利益は今期並の103億円の予想。当期純利益については、今期に計上した湘南工場の売却益がなくなり、同55.9%減の69億円

	2014年度 (実績)	2015年度 (計画)	増減額	増減率
売上高	4,753	4,800	46	1.0%
営業利益	103	103	0	0.0%
経常利益	110	107	▲ 3	▲ 3.5%
当期純利益	156	69	▲ 87	▲ 55.9%

単位:億円